

SAH×進路 『共通テスト』から…次の戦略へ

3年生は1月17日・18日の「本番」を終え、1,2年生は1月21日の「チャレンジ共通テスト」で、3年生が受けた英国数の問題にチャレンジしました。大学進学を考えている高校生にとって「共通テスト」は、挑み、乗り越える壁であり目標です。

さて、「共通テスト」を受け終わった後、どうするか。3年生は今回の「共通テスト」の結果を踏まえて、最後の勝負に向かいます。「切り替え」「レジリエンス」力が大切です。1,2年生は「共通テスト」をやってみてどうするか、です。登るべき山(数年後の共通テスト)を経験した後のふりかえり、そして残りの期間でいかに攻略するかを考えるプランニング力、セルフ・コントロール力が問われます。「やりっぱなし」「うけっぱなし」で終わらない。各学年、今取り組むべき「戦略」を確認しましょう。(編集 教頭)

I. 3年生へ：勝負を分けるのは「切り替え」と「レジリエンス」

◎今年度入試日程の特徴・・・「共通テスト」の日程が例年に比べ遅い→私大個別入試や国公立2次試験までの時間が短い

(1)例年以上に切り替えて次の勝負に進めるかどうか合否の鍵を握る

①C,D判定から2次で逆転を目指す生徒は、ライバルより早めに動かないと逆転はできない。

(2)「共通テスト」がうまくいかなかった国公立志望の生徒へ

国公立2次試験[前期]

まで

後28日

①第一志望の自己採点結果が良くなかった生徒もいるだろう。国公立型の複数科目をここまでやってきたのだから、そこで投げやりにならず、その結果を活かすことを考えるのが鉄則。活かせるものは活かすべき。

②全国に目を向けて、少しでも可能性がある国公立を考えよう。下の③に書いた戦略を取ること、そして特に理系は大学院を見据えて、大学は第一志望ではない大学に行くが、大学院で行きたかった大学を目指す手がある。

③私立を本命に変えるのはいいが、ずっと私立文系でやってきたライバルと戦うのは当然分が悪い(生徒の方が多いいはず)。私立を本命に変える戦略をとってもいいが、その時に国公立を滑り止めや3,4番手の志望校に変更する戦略をとる。判定が良い国公立を出願しておいて、その大学よりも行きたい私立大学に受かったら受験は止まればいい。

④基本3月の後期試験まで受けて、手元に残った「合格した大学」の中でどこに行くか、はたまた行かないかを考えればいい。

(3)私立大学受験の考え方

①私立専願者へ・・・「共通テスト」がうまくいかなかったとしても、もともと本番は2月からの個別入試。「最後の模試」が緊張感を持って受けられた、程度で個別入試に切り替えること。

②今年の私大入試も定員厳格化の影響で、合格者数を絞る可能性が考えられる。受験生側も対策として今年は1,2校多く出願している(各大学で出願数が例年より高いのはコレ)。慌てずに、一つ一つを丁寧に受けること。日東駒専とその下の大学は3月入試もあるのでそこまで視野に入れておくこと。

③私立の戦いが厳しいことを考えると、3科目で受験できる国公立に出願しておく(私大の結果が出てからでは間に合わない)。



Ⅱ.1・2年生へ：山を登って見えた「景色」をどう活かすか

(1)共通テストの特徴

2年生→共通テストまで後 353 日 1年生→共通テスト(1/15,16 と仮定)まで後 718 日

a 資料を読む、読解力がどの科目も問われる b 問われる教科の知識自体は大学入試の基本レベル

(2)チャレンジした経験(山を登って見えた景色)と(1)特徴を踏まえ、これからどう自身を志望校の合格点に持っていくか

①英語(リーディング)

共通テスト「リーディング」の特徴は「英文の量が多い」、「英文のレベルは基本」。よって「チャレンジ共通テスト」をやった後何を振り返ってほしいかというと、時間は足りたか足らなかったか、そもそも英文(英単語、文法)が読めなかったのかの 2 点。

時間が足らなかった場合→「時間があれば問題は解けたのに～」という人、それは共通テストレベルの単語や文法・構文を理解しているということ。では次に何を意識するか。「もっと英文を読む訓練や速読の練習が必要」なわけです。長文を読む時間を意識的に増やすんだ。

大学入試の基礎レベルの英文そのものが読めなかった場合→読むための英語力が不足しているということ。読むためのアイテム

「英単語」「文法」等の基礎を徹底的に覚えることが大事というのがわかる。授業や小テスト、定期考査を活かして入力していく。

②古文・漢文

「読解」なので基本的に英語(リーディング)と一緒に「なんとなく読んで、なんとなくできた(又はできなかった)」はどちらも読む

ためのアイテムを身につけていないことになる。「なんとなく」読んでいる人は、読解するためのアイテムである漢文の「句法」、古文の「古文単語」「文法」を最優先に入力。ここがクリアできている人は、現代文の「評論文」の読み方に手を伸ばす。

②数学

共通テスト「数学」も問題をシンプルに解くだけでなく、資料や文章を読んでこの公式やパターンを使う、そして解法するという「二段階」の作業が求められる。普段の授業で習っている数式のパターンを使えるようにするのに加えて、文章の読解力、どの公式を使えば良いかまでを導き出す力も必要ということがわかる。数学の解答時間が足りなかった生徒は、文章の読解に時間がかかったのか、どの公式やパターンを使うのかを探すのに時間がかかったのか、数学の解法に時間がかかったのか、(はたまた全部なのか)、時間が足らなかった原因を大まかに 3 つに分けて分析する必要がある。

今年の共通テストの自己採点を受けて、河合塾が出した主な国立大学のボーダーライン。昨年度に比べて数学ⅠA、物理が難化したためボーダーラインも低くなっていることがわかる。▶

2026 共通テスト 前・中期ボーダーライン〔河合塾〕	1. 群馬県内国公立 ※抜粋				2. 主な国公立(経済系) ※抜粋			
	大学	学部	学科等	得点率				
2026 共通テスト 前・中期ボーダーライン〔河合塾〕	群馬	共同教育	国語	61	東北	経済	(文系)	78
			社会	61			(理系)	79
			英語	61	筑波	社会・国際	社会	80
			数学	56	東京都立	経済経営		74
			理科	54	埼玉	経済		68
			家政	60	金沢	人間社会	経済	68
			技術	52	新潟	経済科学		63
			音楽	53	富山	経済		59
			美術	49	3. 主な国公立(人文系) ※抜粋			
			保健体育	61	東北	文	人文社会	77
			教育	60	東京都立	人文社会	人文	77
			教育心理	60	金沢	人間社会	人文	67
			特別支援	55	信州	人文	(3科目)	75
			情報	60	茨城	人文社会科学	人間文化	68
			理工	52	新潟	人文		61
			電子・機械	54	福島	人文社会	(2次英語受験)	53
			医	57	4. 主な国公立(理工学系) ※抜粋			
			保-看護	64	東北	工	電気情報物理	78
			保-検査技術	62			化学バイオ工	77
			保-理学療法	55	筑波	理工	工学システム	77
2026 共通テスト 前・中期ボーダーライン〔河合塾〕	高崎経済	経済	保-作業療法	67			応用理工	76
			(前期4科目)	73	東京都立	システムデザイン	航空宇宙	71
			(中期3科目)	60			機械システム	68
		地域政策	(5科目)	64			電気電子工	70
			(3科目)	60	東京農工	工	応用化学	71
				60			機械システム	70
	群馬県立女子	文	国文	67	埼玉	工	電気電子物理	65
			英米文化	62			応用化学	68
			美学美術史	65	金沢	理工	機械工学	64
			文化情報	62			電子情報通信	66
	前橋工科	工 (前期)	国際コミュニケーション	60	5. 主な国公立(農学系) ※抜粋			
			土木環境	48	東北	農		78
			建築都市	52	東京農工	農	生物生産	72
			工学デザイン	49			環境自然科学	71
			情報システム	52	信州	農	生命食品科学	69
		工 (中期)	医工学	45			山岳園森林	65
			生物応用	47	新潟	農		61
			土木環境	60	宇都宮	農	環境システム	58
			建築都市	60	岩手	農	食・農学	60
			工学デザイン	61			地=森林科学	58
			情報システム	59	福島	食農		52
			医工学	57				
			生物応用	57				
	県民健康科学	診療放射線看護		63				
				55				

※河合塾の「ボーダーライン」=合格可能性50%